読んでわかるとはどういうことか

『プルーストとイカ:読書は脳をどのように変えるか?』

Maryanne Wolf 著、小松淳子訳/インターシフト

あなたは今、ブックガイドを読んでいる。しかし、あなたが見つめているものは文字という形になったインクの染みである。にも関わらず、あなたは今、ブックガイドを読んでいると思っている。それでは、読むとはどういうことだろうか。さらに読んで理解するとは、脳の中で何がどのようになっているのだろうか。

これまでの認知心理学研究の知見では、読むということは大方、以下のように 説明されている。まず、印字された文字や図表が視覚情報として脳に送られる。 印字されたものが文字であることを認識し、文字と文字の切れ目がわかるのは、 予め読み手の知識の中に文字についての記憶があるからである。文字を認識した ら、文字と文字を組み合わせた単語を認識する必要がある。アルファベット言語 では語と語の間にはスペースを置く決まりになっているが、日本語はそのような 決まりはないので、どこからどこまでが1単語であるかを見分け、各語の意味を 同定する必要がある。1単語を見分けることができるのは、読み手の記憶の中に 心内辞書と呼ばれる語彙の知識があるからで、この心内辞書には語の書字、音韻、 意味などの情報が入っていて、人は18歳までに母語の単語を約5万語知っている と言われている。次は、単語と単語の関係を知る必要があり、そのためには文法 知識が必要であるが、母語においては、人は学齢期に達するまでに統語知識を獲 得していると言われている。このようにして、1文の意味が心内に形成されるが、 さらには、文と文の関係を知る必要がある。そのためには接続語の働きについて の知識が必要であり、もっと進むと、段落と段落という大きな単位の関係を理解 する必要がある。

このようにして、読解はミクロな単位からマクロな単位に進んでいき、最後にテキスト全体でどのようなことを述べているかという首尾一貫した意味を形成する。そして、テキスト全体を理解するには、文字、単語などテキスト内の情報だけでなく、テキスト内容に関連するあらゆる情報を長期記憶の中から検索し、テキスト全体の意味を構築する。

このようなプロセスを経て「読む」ということが成立するのだが、この過程に何らかの障害が生ずるために「読む」ということができない人々もいる。そのような障害はディスレクシア、読字障害と呼ばれるが、本書の著者であるウルフは

読字障害の世界的な研究者である。読字障害とは、知的能力に異常がないにもかかわらず、文字の読み書き学習に著しい困難を抱える障害のことである。人の脳には情報を統合する領域があり、そこで文字を自動処理しているが、読字障害の人々はこの文字処理がスムーズに行えず、通常とは違う脳の働きをしているという。読字障害の人々は文章を見た時に、二重に見えたり、鏡に映ったように逆に見えたり、文字が流れているように見えたりするらしい。そのため、読み書きを始める小学校低学年では大変な苦労を強いられ、大人になっても自分の名前が書けない人もいるという。著者によれば、人間の脳はそもそも「読む」ことに適しているわけではないそうだ。読字専用の遺伝子というものも存在しないので、読字という新しいスキルを習得するためには、脳の中で視覚と言語用に古くからある構造物を接続する必要がある。人類が読むために必要な認知的発達を遂げるためには2千年もの年月がかかっているそうだが、人間の子どもは生後約2000日で同じレベルに到達することを求められているわけだ。著者のこのような説明を読むと、スムーズな文字の読み書きができない読字障害の人々が異常で、読み書きのできる人が正常だという認識は、これまでとやや異なって見えてくる。

著者は、読字学習は幼児期に親の膝に乗せてもらってお話を読んでもらうところから始まると言う。生後5年間でそのような機会がどれほどあったか、なかったかによって、将来の読字能力が決定し、やがて生涯に渡り読書は脳を発達させていくそうである。

第6章の「熟達した読み手の脳」は本書の中で最も興味深い部分である。文字 認識から始まり意味のネットワーク化に至るまでの読みの過程がミリセカンド単位で説明されており、あたかもコンピュータ・グラフィックスの映像で説明されているような臨場感がある。認知心理学に興味がない人にも、脳の発達という今日的なテーマは興味深いと思う。本書は読字に関する最優良図書としての賞を受賞した名著であり、小松氏による日本語の翻訳も秀逸であるので、お薦めしたい一書である。



柴崎 秀子

基盤共通教育部教授。専門領域は、第二言語習得研究。

『書名』 著者名 翻訳者名 出版社または文庫・シリーズ名 出版年 税込価格 『プルーストとイカ:読書は脳をどのように変えるのか?』 Maryanne Wolf著 小 松淳子訳 インターシフト 2008年 2.592円

ブックガイド目次へ